

日時：2022年11月13日（日）14:00～16:30

場所：山梨大学東京オフィス平河町会議室

日本パーソナリティ心理学会第147回常任理事会議事録

出席：松田英子理事長、尾見康博副理事長、小塩真司、文野 洋、田中麻未、中村 真、
向田久美子、森 津太子、武田美亜

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告（主に第31回理事会・総会での報告事項の確認を行った）

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関誌発行状況・計画（前回総会時より）

過去1年の機関誌発行状況について、以下の通り報告があった。

第30巻第2号(11月、原著5[英文1]、ショート5)

第30巻第3号(3月、追悼記事1、原著4、ショート8[事前登録追試研究1]、招待論文1
[英文])

第31巻第1号(7月、原著4、ショート6)

第31巻第2号(11月、原著5、ショート2[事前登録研究1])

第31巻第3号編集作業中(3月、原著3、ショート2)掲載予定

(2) 投稿・審査状況の推移

以下の表の通り、過去10年の投稿・審査状況について報告があった。

年	採択	不採択	取り下げ	投稿数
2012	36	22	5	84
2013	28	16	5	64
2014	24	25	9	72
2015	33	26	3	71
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018	35	30	10	78
2019	33	40	8	81
2020	33	30	6	79
2021	31	19	8	57
2022	24	15	2	37

2022年は10月31日まで

(3) 第31期（2022年度）編集委員会（別紙）

別紙の通り報告があった。任期は年度で代わる態勢が整っている。

2 経常的研究交流委員会（田中委員長）

これまでに行われた第 30 回大会企画、第 30 回大会招待講演、3 月企画について報告があった。委員構成と任期に関しても報告がなされた。

3 広報委員会（文野委員長）

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信について活動報告がなされた。第 31 回大会に関しては、YPP を 11 月 27 日にオンラインで開催する予定である（参加予定者 45 名（10 月 26 日時点）。デビュー割の利用者数は 12 名である。優秀大会発表賞については、抄録原稿を対象とした理事・監事による 1 次審査を行い、2 次審査は大会参加者による投票で行う。1 次審査通過者にはメールで連絡することとし、大会参加者には当日候補一覧を示した投票用紙を配布することとした。

委員構成と任期、今後の活動計画についても報告があった。2019 年度新規委員より、3 年後の年度末での交代に変更している。

4 学会賞選考委員会（向田委員長）

学会賞 1 本（第 30 巻 3 号掲載『アバター通信を用いた心理支援における非言語コミュニケーションの豊富と対面性の低さの役割の検討』三枝弘幸ほか 3 名）、奨励賞 1 本（第 30 巻 3 号掲載『顔の自撮りの加工が自尊感情およびポジティブ気分にあげぼす影響』佐藤広英）が決定した。学会賞と奨励賞については、メーリングリストで報告した上で、大会の総会で授賞式を行うため、それぞれの第 1 著者に出席可能かどうかを問い合わせる旨の報告がなされた。

III 日本心理学諸学会連合（松田理事長）

次回連合会議は 12 月 17 日であることが報告された。

IV その他

特になし

審議事項

I 財務関連事項（森財務担当常任理事）

第 146 回常任理事会ですでに承認されている 2021 年度決算、2022 年度予算案について第 30 回大会の決算を中心に、再度確認するための報告がなされた。決算については、監査も無事終わった旨の報告があった。

II 会員の入退会に関する件（中村事務局長）

事務局より別紙の通り、新規入会希望者 34 名（ML 審議にて承認済み 34 名）、退会希望者 0 名の一覧表が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者、自動退会予定者について報告があった。

以上の承認を受けて、2022年11月9日現在、会員総数は883名である。内訳は一般会員686名、院生会員184名、学生会員1名、名誉会員8名、賛助会員4名。

Ⅲ 業務委託先（事務局）の変更に伴う国際文献社との業務委託契約の終了（追認）及び会則【第2条(事務局)】の改正について（松田理事長・中村事務局長）

業務委託先の変更について報告がなされ、常任理事会としてこれを追認した。併せて、機関誌関連業務については引き続き国際文献社に委託することを申し合わせた。また、別紙の通り、業務委託先（事務局）の変更に伴う会則改正案が提案され、審議の結果、承認された。

Ⅳ 第31回理事会議案・第31回会員総会の式次第について（中村事務局長）

第31回理事会議案、第31回大会会員総会の式次第について確認が行われた。総会に関しては事前にURLを送り、大会の参加申込をしていない会員も参加できるようにすることを確認した。

Ⅴ 第31回大会の準備状況と今後のことについて（森大会事務局長）

準備状況について報告がなされた。また、大会参加者への連絡方法、コロナ感染対策の周知方法を確認し合うとともに、コロナ感染等により対面発表ができない参加者への対応について、大会後何らかの形で発表の機会を確保する方向で検討することとした。そのほか、当日の対応等について検討がなされた。

Ⅵ 第32回大会開催校について（尾見副理事長）

金沢大学（実行委員長：岡田努先生）の主催により、金沢歌劇座で2023年9月7～8日に開催されることとなった。

Ⅶ 次回常任理事会の日程について

12月26日（月）18時～20時（予定） オンラインでの開催とする。

Ⅷ その他

特になし

以上